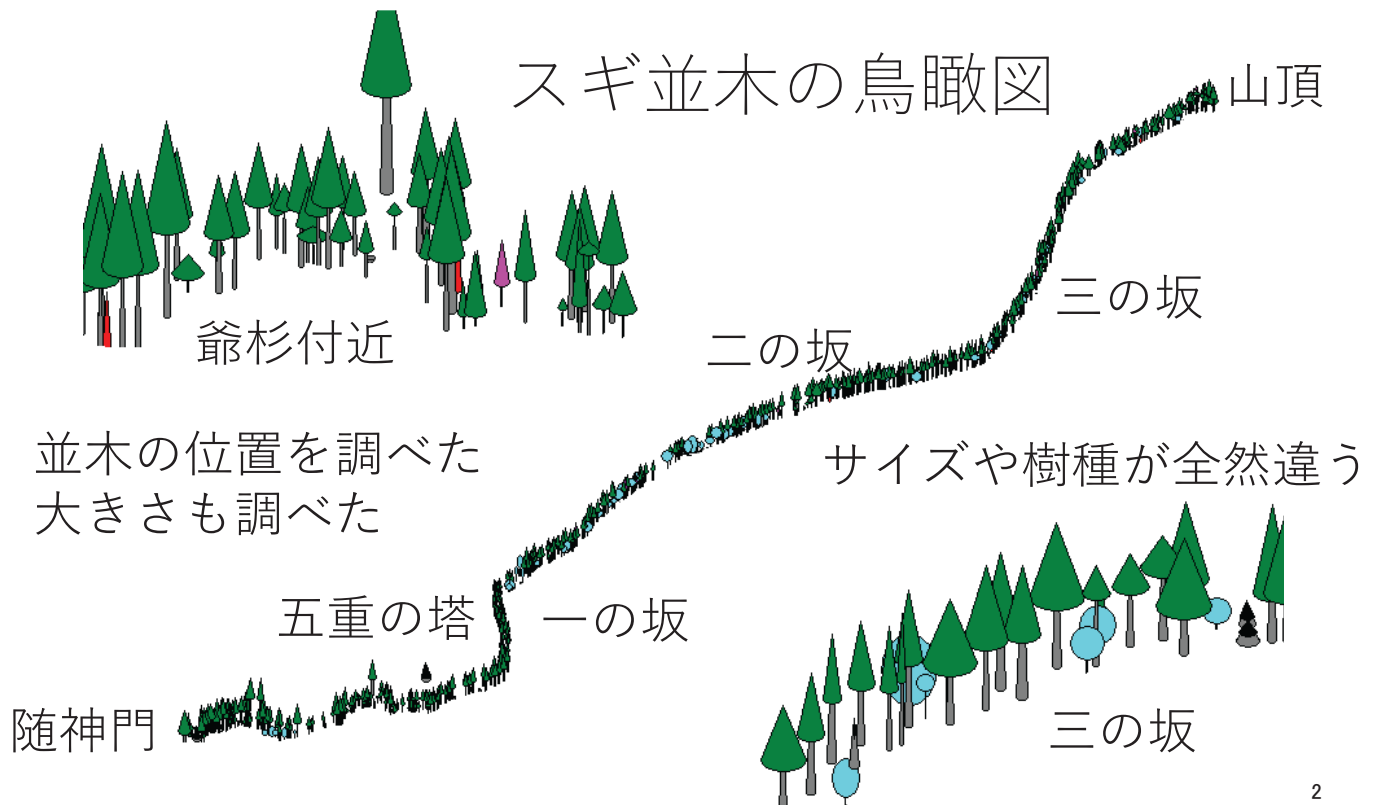


スギ並木の奏でる音 / 山形大学 野堀嘉裕

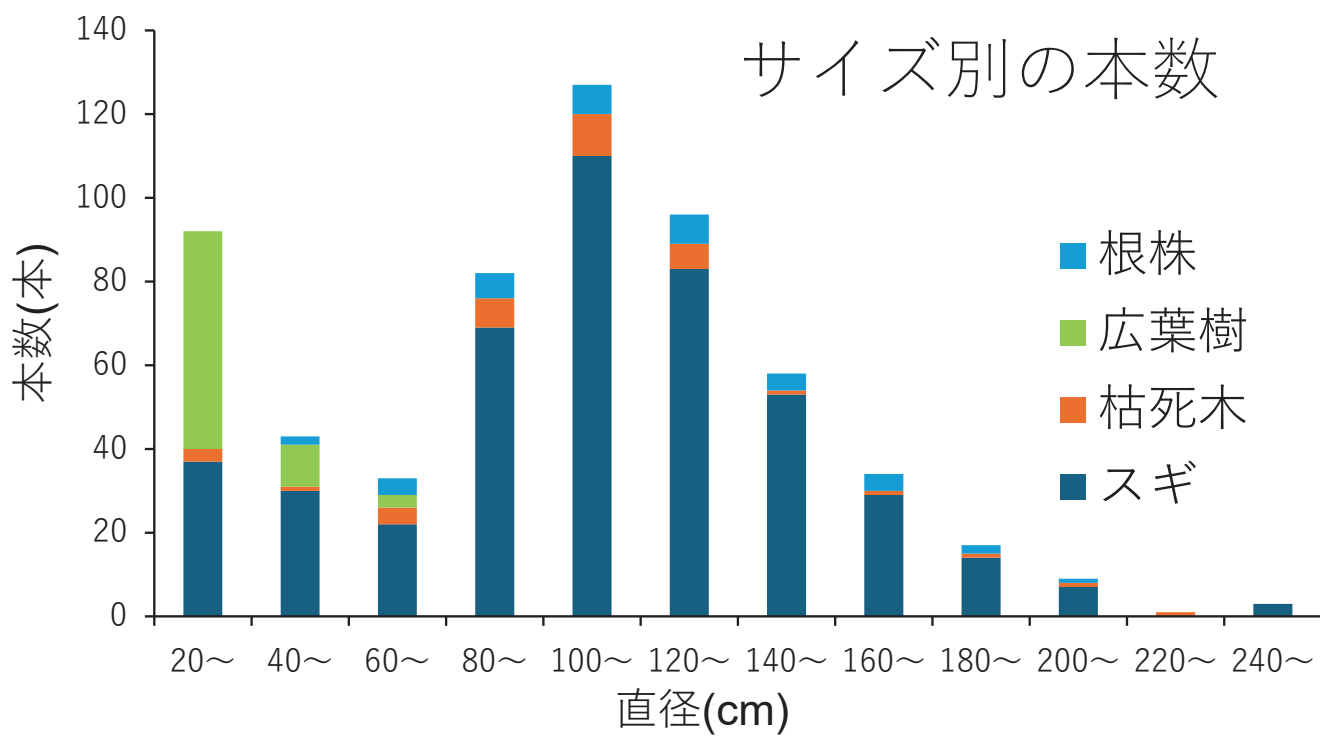
- 荘厳な景観だ
- 世界文化遺産へ
- 痛んでる木も多い
- 把握は難しい
- 木琴に例えてみた
- 音楽になるかも



1

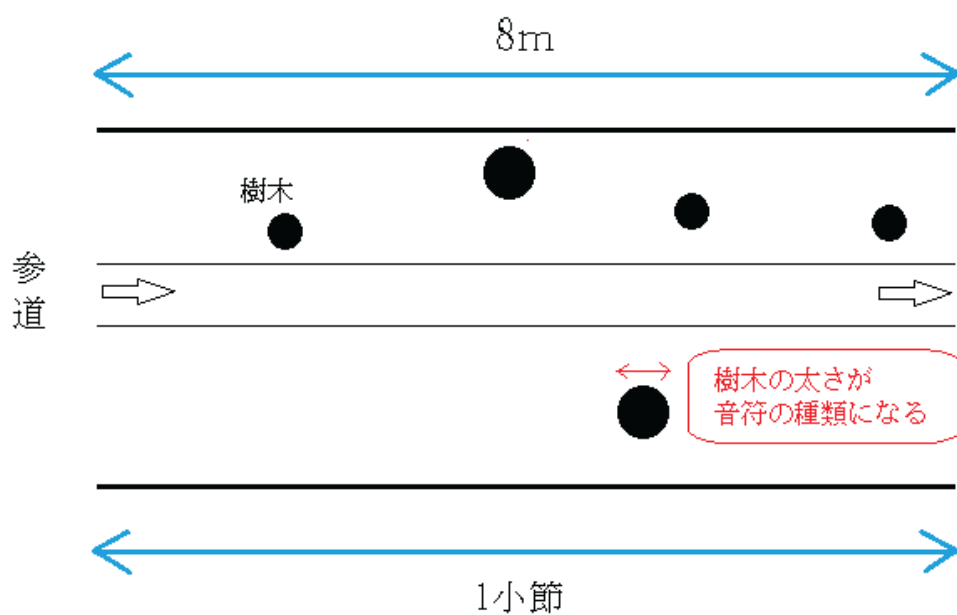


2



3

木を音符に置き換えてみる



4

直径(cm)	コード	音程
33～	G	ソ
41～	F	ファ
45～	E	ミ
55～	D	レ
67～	C	ド
74～	B	シ
91～	A	ラ
111～	G	ソ
136～	F	ファ
151～	E	ミ
185～	D	レ
226～	C	ド

樹木の音符化

直径(cm)	音符
～50	16分音符
～100	8分音符
～150	付点8分音符
～200	4分音符
～250	4分音符 + 16分音符

Yamaha XG Worksで編曲にした

5

随神門から五重塔の楽譜（最初の8小節）

The musical score is written for five staves, each representing a different element of the temple complex. The key signature is one sharp (F#) and the time signature is 4/4. The first staff, 'スギ健全木' (Sugi Kenzenki), contains the most complex melody with many beamed sixteenth and thirty-second notes. The second staff, '枯死木' (Kusishiki), is mostly rests. The third staff, '広葉樹' (Koyokushu), is also mostly rests. The fourth staff, '五重塔・社' (Gomonji・Shira), has a few notes in the first two measures. The fifth staff, '根株' (Nezumi), has a few notes in the first two measures. The score is marked with a '1' at the beginning of each staff, indicating the first measure.

※ [音源は最初の30秒](#)（1分56秒）

6

一の坂の楽譜（最初の8小節）

スギ健全木

枯死木

広葉樹

社

根株

※ [音源は最初の30秒](#)（1分28秒）

7

二の坂の楽譜（最初の8小節）

スギ健全木

枯死木

広葉樹

社

根株

※ [音源は最初の30秒](#)（2分12秒）

8

三の坂の楽譜（最初の8小節）

スギ健全木

枯死木

広葉樹

社

根株

※ 音源は最初の30秒（2分2秒）

9

どのように感じましたか

随神門から五重塔	高音から低音が混ざり合ったとても華やかで豊かな音の連なりで、不安は感じられません。
一の坂	中低音の連続でまるで行進曲のようです。軽やかな中に不安なところがあります。
二の坂	低音の連なりで不気味な転調箇所が多く所々に無音部がありとても寂しく感じます。
三の坂	音が少なく単調で低音がゆっくりながれるなかに濁った音も含まれていて、悲慘に感じます。

10